（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	Workshop　RNC

公表日　令和　7　年　9　月　3　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		今あるスペースを目的、状況に合わせて構造化し、活動している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		職員は小人数ではあるが、利用児童一人一人に声掛けし、関わるようにしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		段差のない玄関、引き戸であるなど、車椅子利用の方も不自由なく動けるスペースの確保が十分に整っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。			事業所内では定期的にミーティングを実施し、利用者様からのご意見やご要望について職員間で共有し早急に対応、改善できるようにしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	必要に応じて個別の部屋で活動することがある。（勉強したいときなど）	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		6	ミーティングを行い、支援内容について見直しを行い、改善を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		週１回のミーティングなどで話し合いを行い、必要であれば業務改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		第三者評価は未実施だが、今後受けることを検討している。外部講師による研修や、スパーバイザーによる評価も受けられる機会を設けることを検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		内部研修や外部研修に参加している。他の職員への伝達研修も実施している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	専門スタッフだけではなく様々な職種のスタッフが意見を出し合い計画作成に努めている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		活動内容の振り返りを行い、職員で意見を出したり、利用者の意見も取り入れるなどプログラムの内容が被らないよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	3	日々の生活の中で、一人一人の成長や様子を確認、共有しながら個別活動、集団活動内容を設定し計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		支援開始前に活動内容や役割分担を確認し、支援に取り組んでいる。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	6		一日の活動を振り返り、利用者の反応や職員の対応に関して、その都度振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		一日を通して意識的に利用者の行動を見守り、正確な記録をとることを心がけている。適切な支援の振り返りとして具体的に記している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	3	管理者が主にモニタリングをしている。定期的にモニタリングを実施している。利用児童や保護者のニーズに応じて支援内容を検討、改善している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6		５領域の内容に照らし合わせ、個別に集中して課題に取り組む時間、創作活動や遊びを通じてソーシャルスキルを習得する集団活動の時間を設け支援を行なっている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童の発達や支援に精通する児童指導員や保育士資格を持つスタッフが参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		保護者の方から情報をいただき、必要であれば看護師を通じて主治医等と連絡を取れる体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		保護者様を介して情報共有を行っている。児童がいれば、直接学校担任と連絡を調整させて頂いる。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		保護者の方の了解をいただき、児童発達支援事業所の担当者と情報共有に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		開設からまだ３年目のため障害福祉事業所等に移行された方はいらっしゃらないので、今後どのように情報を提供していくかの検討を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	1	5		今後、職員研修等で助言などを受けられるようにしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	定期的な交流の機会は設けていないが地域の公園で遊んだ際にその場にいる子どもたちと交流を持てるよう努めている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		6		今後そのような機会があれば管理者が参加する予定。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時に様子を伝えあったり、サービス提供記録でお伝えしたり、保護者から頂いた情報は全スタッフで共有するようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		ご契約時や個別支援計画において必要な情報はご説明させて頂いている。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	4	必要に応じて、面談を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		6	今後どのように交流の機会を設けるか検討を行なっている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		そのようなことがあれば、管理者に報告し、利用児童や保護者の方からのご意見に対し、スタッフ間で共有し、迅速かつ適切に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	3	会報等は発行していないが、SMSを活用して、一日の活動内容や児童の様子を保護者の方に伝えている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報が記載されている書類を保管する場所は取扱いに注意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		筆談ボードを利用するなど、一人ひとりに配慮したコミュニケーション方法をとっている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	広報を通して地域の方には認知をしていただいていますが、行事への参加をしていただくことはしていない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	3	現在マニュアルの作成を行なっている。これから職員や保護者への周知を促していく。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		定期的に避難訓練の機会を設けている。災害時におけるスタッフの役割と対応の確認を行なっている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		虐待防止研修に参加している。スタッフの意識的な支援に繋がり適切な対応が出来ている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		おやつの提供を行っており、必要に応じて保護者の指示に基づき対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			引き続き安全に留意して支援にあたりたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6			引き続き内容の周知に努めたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		事故に繋がりそうだと思う出来事はヒヤリハットで報告している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			